



2021年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東
 コード番号 7962 URL <https://www.kingjim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883
 定時株主総会開催予定日 2021年9月16日 配当支払開始予定日 2021年9月17日
 有価証券報告書提出予定日 2021年9月16日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績(2020年6月21日~2021年6月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	36,319	8.6	2,416	96.1	2,755	85.0	1,963	81.5
2020年6月期	33,455	△2.5	1,232	△11.6	1,489	△9.0	1,081	12.3

(注) 包括利益 2021年6月期 2,652百万円(179.8%) 2020年6月期 948百万円(75.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	68.99	68.69	8.6	9.4	6.7
2020年6月期	38.06	37.88	5.0	5.5	3.7

(参考) 持分法投資損益 2021年6月期 -百万円 2020年6月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	30,565	24,118	78.6	843.66
2020年6月期	28,051	21,910	77.7	766.82

(参考) 自己資本 2021年6月期 24,022百万円 2020年6月期 21,794百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	3,108	△492	△1,382	7,032
2020年6月期	1,989	△1,357	456	5,410

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	-	7.00	-	10.00	17.00	483	44.7	2.2
2021年6月期	-	7.00	-	20.00	27.00	768	39.1	3.4
2022年6月期(予想)	-	7.00	-	15.00	22.00		40.2	

3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年6月21日~2022年6月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,500	5.5	750	△13.3	870	△15.8	600	△13.2	21.07
通期	38,000	4.6	2,070	△14.3	2,270	△17.6	1,560	△20.5	54.79

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期	31,459,692株	2020年6月期	32,459,692株
② 期末自己株式数	2021年6月期	2,985,190株	2020年6月期	4,037,479株
③ 期中平均株式数	2021年6月期	28,457,828株	2020年6月期	28,422,372株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年6月期の個別業績（2020年6月21日～2021年6月20日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	25,672	1.0	1,426	27.7	1,643	25.8	1,149	19.2
2020年6月期	25,421	△0.3	1,117	1.4	1,306	1.7	965	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年6月期	40.41		40.23					
2020年6月期	33.96		33.79					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年6月期	23,995		20,128		83.5	703.83		
2020年6月期	23,438		19,136		81.2	669.46		

(参考) 自己資本 2021年6月期 20,041百万円 2020年6月期 19,027百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による国内外の経済活動の縮小により景気は急速に悪化し、極めて厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社は継続して感染予防策をとることでお客様や従業員の安全を図りつつ、販売活動においても、感染予防対策強化に貢献できるように衛生用品の新製品投入と販売強化に努めてまいりました。

この結果、当社において、自動手指消毒器の「テッテ」「アルサット」等の売上が伸長したほか、(株)ぼん家具や(株)ラドンナにおいて、巣ごもり需要により売上が好調に推移し、さらに、ウインセス(株)を連結の範囲に含めたことにより、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は 363億1,907万円（前連結会計年度比 8.6%増）となりました。利益面では、売上高の増加に加え、売上原価率の低下、テレワークの推進による出張費ほか固定費の削減の一方で、運賃の増加やテレビCMの実施によって販管費は増加しましたが、売上高の増加により販管費率は改善し、営業利益は 24億1,680万円（前連結会計年度比 96.1%増）、経常利益は 27億5,545万円（前連結会計年度比 85.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は 19億6,334万円（前連結会計年度比 81.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 文具事務用品事業

電子製品におきましては、衛生用品の販売強化として、販売好調な自動手指消毒器「テッテ」TE500の拡販を図ると共に、新たに大容量タイプとなるTE1000を発売し、6月にはテレビCMを実施いたしました。その他、ファイルで使用している素材を活用した「クリアパーティション」や「フェイスシールド」各種、「マスクケース」等、感染症対策としてご活用いただける製品を発売し、拡販いたしました。主力の「テブラ」では、「テブラ」PRO初のスマートフォン専用モデルSR-MK1を発売いたしました。その他、「手書き」の良さを追求したデジタルノート「フリーノ」、環境騒音を低減する「デジタル耳せん」の完全ワイヤレス型MM3000等を発売いたしました。生活環境改善用品では、家庭での快適な生活をサポートする新ブランド「SPOT(スポット)」シリーズとして「ツールスタンド」と「スタックバスケット」や、人を感知すると音声で自動再生される「お知らせボイス」を発売いたしました。

ステーションナリーにおきましては、近年、女性をメインターゲットとした文具が注目を集めており、当社においても透明フィルム素材のマスキングテープ「SODA」や先端をフタマタにしたことで自立する「フタマタフセン」、手帳の立体的なデコレーションができる「ポップアップシール」、トレンドのニュアンスカラーを取り入れたファイルシリーズ「エミリー」等を発売いたしました。これらの製品は、大手販売店様の店頭でメイン陳列を行ってもらうなど多くの女性にPRできるように取り組んでまいりました。ウインセス(株)では、クリーンルーム用手袋の増産に注力し、半導体、製薬業界向けの商品を中心に拡販してまいりました。

この結果、電子製品の売上高が「テッテ」を中心に好調であり、また、ウインセス(株)が加わったこともあり、売上高は 276億9,037万円（前連結会計年度比 3.6%増）、営業利益は、売上原価率と販売費及び一般管理費率が前年同期に比べて減少したため、16億2,925万円（前連結会計年度比 33.9%増）となりました。

② インテリアライフスタイル事業

(株)ぼん家具では、巣ごもり需要やテレワーク需要の増加に応じて、収納用品やデスク・チェア用品を中心に拡販してまいりました。(株)ラドンナでは、今期集中的に取り組んだ家電量販店及びEC店舗の販路拡大により、更なる巣ごもり需要の高まりを捉えデジタル雑貨売上が続伸いたしました。キッチン家電に加え、2月に発売したオートソープディスペンサーも売上に寄与いたしました。(株)アスカ商会では、オフィス装飾需要に対応したグリーン・人工観葉商品の充実を図り、拡販してまいりました。

この結果、(株)ぼん家具や(株)ラドンナが巣ごもり需要によって売上高が好調であったため、売上高は 86億2,869万円（前連結会計年度比 28.4%増）、営業利益は売上高の大幅な増加と各種コスト削減努力により 7億6,277万円（前連結会計年度は 474万円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して 25億1,368万円増加し、305億6,523万円となりました。これは主に、関係会社株式が減少した一方で、現金及び預金や投資有価証券、商品及び製品の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して 3億586万円増加し、64億4,705万円となりました。これは主に、未払法人税等や未払金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して 22億782万円増加し、241億1,818万円となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して 16億2,225万円増加し、70億3,292万円（前連結会計年度比 30.0%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ 11億1,831万円増加し、31億800万円となりました。これは主に、法人税等の支払額 5億3,377万円やたな卸資産の増加額 1億8,409万円等があった一方、税金等調整前当期純利益 27億1,873万円や減価償却費 6億2,862万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ 8億6,529万円減少し、4億9,208万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入 4億6,067万円や保険積立金の解約による収入 9,466万円等による収入があった一方、定期預金の預け入れによる支出 6億48万円や有形固定資産の取得による支出 2億9,695万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、13億8,233万円（前連結会計年度は 4億5,680万円の資金獲得）となりました。これは主に、配当金の支払額 4億8,378万円や短期借入金の純減額 8億5,000万円等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期
自己資本比率 (%)	75.1	79.0	81.3	77.7	78.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	103.5	114.9	92.0	95.2	85.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.3	0.1	0.1	0.5	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	172.5	180.5	266.0	265.6	455.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

日本経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により、同感染症の収束に向けて消費の段階的な回復が期待されるものの、景気動向や雇用・所得環境に対する先行きに不透明感があります。世界経済においても、消費の持ち直しの動きはみられるものの、不確実性は継続するものと考えられます。

こうした経済環境のなか、当社グループは、事業環境の変化に対応し、持続的な成長に向けて、2024年6月期を最終年度とする第10次中期経営計画を策定いたしました。2022年6月期は初年度にあたり、「成長分野への注力」と「基盤事業の更なる強化」の方針のもと、「文具事務用品事業」・「インテリアライフスタイル事業」の両事業においてグループ全体で企業価値の向上を図ってまいります。

次期の業績予想は、巣ごもりやテレワーク関連、衛生・健康用品等の新しい生活様式に向けた製品の需要が継続することを想定し、売上は前年を上回る一方、円安や一部原材料の価格が大幅に高騰していることから、利益は前期より減少する見込みです。

上記施策により、次期におきましては、売上高 380億円（前連結会計年度比 4.6%増）、営業利益 20億7,000万円（前連結会計年度比 14.3%減）、経常利益 22億7,000万円（前連結会計年度比 17.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益 15億6,000万円（前連結会計年度比 20.5%減）を計画しております。

なお、当社グループは、新型コロナウイルス感染症に対してテレワークや時差勤務の推奨、WEB会議の推進等の予防策を徹底し、引き続きお客様や従業員の安全確保に取り組むとともに、新しい生活様式に対応した製品開発にも一層尽力し、社会に貢献してまいります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の配当政策は、株主への一層の利益還元と機動的な経営施策遂行のための内部留保を総合的に考慮し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向の基準を40%とし、安定配当することを目指します。

当期における期末配当につきましては、1株当たりの普通配当20円を、2021年9月16日開催の定時株主総会にお諮りする予定であります。なお、当期における中間配当は、1株当たり7円で実施しておりますので、1株当たり27円となる予定であります。

次期の配当につきましては、中間配当7円、期末配当15円の合計22円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移および国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月20日)	当連結会計年度 (2021年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,644,022	7,439,265
受取手形及び売掛金	4,656,058	4,722,763
商品及び製品	6,390,082	6,760,784
仕掛品	415,739	383,624
原材料及び貯蔵品	1,238,769	1,333,463
その他	459,217	589,869
貸倒引当金	△4,395	△6,817
流動資産合計	18,799,495	21,222,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,474,873	5,972,522
減価償却累計額	△3,329,830	△3,731,364
建物及び構築物(純額)	2,145,043	2,241,158
機械装置及び運搬具	2,609,055	2,832,925
減価償却累計額	△2,314,531	△2,556,689
機械装置及び運搬具(純額)	294,524	276,236
土地	1,526,984	1,588,784
建設仮勘定	43,249	77,347
その他	2,991,565	3,152,840
減価償却累計額	△2,695,681	△2,884,376
その他(純額)	295,883	268,463
有形固定資産合計	4,305,685	4,451,990
無形固定資産		
その他	488,162	520,801
無形固定資産合計	488,162	520,801
投資その他の資産		
投資有価証券	1,995,882	2,441,771
関係会社株式	830,000	—
退職給付に係る資産	1,033,702	1,331,727
繰延税金資産	151,196	209,795
その他	450,659	401,071
貸倒引当金	△3,232	△14,872
投資その他の資産合計	4,458,208	4,369,493
固定資産合計	9,252,056	9,342,285
資産合計	28,051,551	30,565,239

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月20日)	当連結会計年度 (2021年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,214,206	2,159,803
短期借入金	850,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	—	26,361
未払法人税等	379,178	678,217
未払金	700,385	921,562
役員賞与引当金	24,729	17,743
その他	828,466	1,013,850
流動負債合計	4,996,966	4,857,537
固定負債		
長期借入金	—	117,680
繰延税金負債	437,158	656,035
退職給付に係る負債	420,247	488,341
資産除去債務	21,315	24,251
その他	265,500	303,208
固定負債合計	1,144,222	1,589,517
負債合計	6,141,188	6,447,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,383,776	1,717,573
利益剰余金	21,190,651	22,468,110
自己株式	△3,568,021	△2,638,851
株主資本合計	21,985,097	23,525,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	432,086	732,394
繰延ヘッジ損益	△760	912
為替換算調整勘定	△494,491	△376,878
退職給付に係る調整累計額	△127,205	140,925
その他の包括利益累計額合計	△190,370	497,353
新株予約権	109,292	87,088
非支配株主持分	6,343	8,219
純資産合計	21,910,363	24,118,184
負債純資産合計	28,051,551	30,565,239

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)	当連結会計年度 (自 2020年6月21日 至 2021年6月20日)
売上高	33,455,274	36,319,071
売上原価	20,554,178	21,880,290
売上総利益	12,901,096	14,438,780
販売費及び一般管理費	11,668,499	12,021,975
営業利益	1,232,597	2,416,805
営業外収益		
受取利息	14,290	14,077
受取配当金	60,237	58,822
為替差益	39,655	55,801
受取賃貸料	154,276	153,064
助成金収入	10,814	40,252
保険解約返戻金	—	44,756
その他	43,892	27,761
営業外収益合計	323,166	394,536
営業外費用		
支払利息	7,491	6,795
賃貸収入原価	46,694	45,554
その他	12,136	3,540
営業外費用合計	66,323	55,890
経常利益	1,489,441	2,755,451
特別利益		
固定資産売却益	87,492	453
特別利益合計	87,492	453
特別損失		
固定資産売却損	1,081	—
固定資産除却損	14,725	7,073
減損損失	21,913	—
特別退職金	—	30,095
特別損失合計	37,720	37,168
税金等調整前当期純利益	1,539,213	2,718,736
法人税、住民税及び事業税	467,402	831,476
法人税等調整額	△10,370	△77,956
法人税等合計	457,031	753,519
当期純利益	1,082,181	1,965,216
非支配株主に帰属する当期純利益	502	1,875
親会社株主に帰属する当期純利益	1,081,679	1,963,340

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)	当連結会計年度 (自 2020年6月21日 至 2021年6月20日)
当期純利益	1,082,181	1,965,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90,418	300,307
繰延ヘッジ損益	2,065	1,672
為替換算調整勘定	△85,394	117,612
退職給付に係る調整額	39,863	268,130
その他の包括利益合計	△133,884	687,723
包括利益	948,297	2,652,940
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	947,795	2,651,064
非支配株主に係る包括利益	502	1,875

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益
当期首残高	1,978,690	2,383,666	20,506,886	△3,567,808	21,301,434	522,505	△2,826
当期変動額							
剰余金の配当			△397,914		△397,914		
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,081,679		1,081,679		
自己株式の取得				△212	△212		
連結子会社株式の売却 による持分の増減		109			109		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△90,418	2,065
当期変動額合計	—	109	683,765	△212	683,662	△90,418	2,065
当期末残高	1,978,690	2,383,776	21,190,651	△3,568,021	21,985,097	432,086	△760

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	△409,096	△167,068	△56,485	89,569	—	21,334,518
当期変動額						
剰余金の配当						△397,914
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,081,679
自己株式の取得						△212
連結子会社株式の売却 による持分の増減						109
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△85,394	39,863	△133,884	19,722	6,343	△107,817
当期変動額合計	△85,394	39,863	△133,884	19,722	6,343	575,845
当期末残高	△494,491	△127,205	△190,370	109,292	6,343	21,910,363

当連結会計年度(自 2020年6月21日 至 2021年6月20日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益
当期首残高	1,978,690	2,383,776	21,190,651	△3,568,021	21,985,097	432,086	△760
当期変動額							
剰余金の配当			△483,543		△483,543		
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,963,340		1,963,340		
自己株式の取得				△100	△100		
自己株式の処分		△2,635		46,270	43,635		
自己株式の消却		△663,568	△219,431	883,000	—		
連結範囲の変動			17,094		17,094		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						300,307	1,672
当期変動額合計	—	△666,203	1,277,458	929,170	1,540,425	300,307	1,672
当期末残高	1,978,690	1,717,573	22,468,110	△2,638,851	23,525,522	732,394	912

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	△494,491	△127,205	△190,370	109,292	6,343	21,910,363
当期変動額						
剰余金の配当						△483,543
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,963,340
自己株式の取得						△100
自己株式の処分						43,635
自己株式の消却						—
連結範囲の変動						17,094
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	117,612	268,130	687,723	△22,204	1,875	667,395
当期変動額合計	117,612	268,130	687,723	△22,204	1,875	2,207,820
当期末残高	△376,878	140,925	497,353	87,088	8,219	24,118,184

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)	当連結会計年度 (自 2020年6月21日 至 2021年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,539,213	2,718,736
減価償却費	643,426	628,628
減損損失	21,913	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,241	14,027
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	50,982	87,714
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	25,553	51,974
受取利息及び受取配当金	△74,527	△72,900
支払利息	7,491	6,795
為替差損益 (△は益)	△2,552	△13,977
固定資産除却損	14,725	7,073
固定資産売却損益 (△は益)	△86,410	△453
特別退職金	—	30,095
売上債権の増減額 (△は増加)	88,138	208,271
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△271,024	△184,096
その他の資産の増減額 (△は増加)	△105,996	△85,653
仕入債務の増減額 (△は減少)	477,194	△120,652
保険解約返戻金	—	△44,756
助成金収入	△10,814	△40,252
その他の負債の増減額 (△は減少)	50,893	343,703
その他	34,068	30,103
小計	2,401,033	3,564,381
利息及び配当金の受取額	72,407	70,897
利息の支払額	△7,491	△6,830
法人税等の還付額	1,694	3,173
法人税等の支払額	△488,770	△533,771
特別退職金の支払額	—	△30,095
助成金の受取額	10,814	40,252
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,989,687	3,108,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)	当連結会計年度 (自 2020年6月21日 至 2021年6月20日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△232,357	△133,844
有形固定資産の取得による支出	△533,834	△296,950
有形固定資産の売却による収入	205,155	819
差入保証金の差入による支出	△22,215	△2,095
差入保証金の回収による収入	16,374	19,582
保険積立金の積立による支出	△4,400	—
保険積立金の解約による収入	—	94,668
定期預金の預入による支出	△382,800	△600,486
定期預金の払戻による収入	439,214	460,676
子会社株式の取得による支出	△830,000	—
その他	△12,523	△34,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,357,386	△492,089
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	850,000	△850,000
長期借入金の返済による支出	—	△47,689
自己株式の取得による支出	△212	△100
配当金の支払額	△397,863	△483,789
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	5,950	—
その他	△1,070	△752
財務活動によるキャッシュ・フロー	456,803	△1,382,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,661	74,550
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,042,443	1,308,137
現金及び現金同等物の期首残高	4,368,219	5,410,662
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	314,121
現金及び現金同等物の期末残高	5,410,662	7,032,921

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の拡大または収束を予測することは困難な状況であります。翌連結会計年度においても当社グループへの影響が一定の期間に渡り継続するものと仮定し、会計上の見積りを行っております。なお、今後の状況の変化により、翌連結会計年度以降の当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の分配の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社および連結子会社ごとの財務諸表を当社の取締役会に報告しており、これを事業セグメントの構成単位としております。また、各セグメントの製品および販売市場の類似性等を考慮したうえでセグメントを集約しており、当社グループは「文具事務用品事業」と「インテリアライフスタイル事業」の2つを報告セグメントとしております。

「文具事務用品事業」は、主として、当社、P.T.KING JIM INDONESIA、KING JIM (MALAYSIA) SDN. BHD.、錦宮(上海)貿易有限公司、KING JIM (VIETNAM) Co., Ltd.、錦宮(香港)有限公司およびその子会社である錦宮(深圳)商貿有限公司、ウインセス㈱が展開し、ステーショナリー(ファイル、OAサポート用品等)、電子製品(テブラ、ポメラ他)等の製造・販売を行っております。

「インテリアライフスタイル事業」は、主として、㈱ぼん家具、㈱ラドンナ、㈱アスカ商会在展開し、家具、キッチン雑貨、フォトフレーム、アロマ関連商品、時計、アーティフィシャル・フラワー等の企画・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,735,486	6,719,788	33,455,274	—	33,455,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87,303	244,896	332,200	△332,200	—
計	26,822,790	6,964,684	33,787,475	△332,200	33,455,274
セグメント利益又は損失(△)	1,216,414	△4,744	1,211,670	20,926	1,232,597
セグメント資産	23,059,648	5,518,456	28,578,104	△526,552	28,051,551
その他の項目					
減価償却費	572,996	70,529	643,525	△99	643,426
減損損失	—	21,913	21,913	—	21,913
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	626,230	121,720	747,951	—	747,951

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 20,926千円および、セグメント資産の調整額 △526,552千円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年6月21日 至 2021年6月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,690,375	8,628,695	36,319,071	—	36,319,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,163	181,543	270,706	△270,706	—
計	27,779,539	8,810,238	36,589,778	△270,706	36,319,071
セグメント利益	1,629,254	762,779	2,392,034	24,771	2,416,805
セグメント資産	24,601,935	6,066,897	30,668,833	△103,593	30,565,239
その他の項目					
減価償却費	526,833	101,876	628,710	△82	628,628
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	428,517	68,383	496,900	—	496,900

(注) 1. セグメント利益の調整額 24,771千円および、セグメント資産の調整額 △103,593千円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)	当連結会計年度 (自 2020年6月21日 至 2021年6月20日)
1株当たり純資産額	766.82円	843.66円
1株当たり当期純利益	38.06円	68.99円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	37.88円	68.69円

(注) 1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)	当連結会計年度 (自 2020年6月21日 至 2021年6月20日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,081,679	1,963,340
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,081,679	1,963,340
期中平均株式数(株)	28,422,372	28,457,828
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	136,384	123,401
(うち新株予約権)	(136,384)	(123,401)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。